



台湾・屏東大学との国際交流活動2025 (活動報告座談会)



時:令和8年2月18日(水) 13時~14時30分

ところ:C6-205

多文化教育系 × 表現活動教育系 院生4名

(1名海外研修中オンライン参加)他、教員3名参加



報告会+座談会の実施は、今年度初めて試みであった。「体験の深さ・広がり」や「考えや見え方の変化」を確認する機会となった。それぞれの領域やカリキュラム単位で行ってきた屏東大学との交流活動の実際を、参加学生が、お互いに共有することで、様々な気づきや発見があった。特に、お互いの活動紹介後には、それぞれの活動細部についてのさらなる説明や、質疑応答が活発に行われた。やはり、同じ大学での交流活動ということもあってか、予定時間いっぱいまで意見交換が続いた。いろいろな視点からの「問」や「提案・アイデア」は、参加院生たちの可能性の広がりを感じさせた。教員側からも、今後に向けたカリキュラムのアイデアや提案、協働の可能性についてコメントがなされ、大変有意義な時間となった。



今回このような「場づくり」がされたのは、ある意味では
みんながバラバラに動いていたからなんです
すよね。だから

「今それぞれが何をやっているのか」を
「一度ちゃんと整理して集約したほうがいい」と
いうことで今回の取り組みが始まったわけです。

お話を伺って、「正直かなり“相乗り”できそうだな」と
感じました。



▶院生チームがワークショップで使用したグッズ現物を紹介しあう。

「紋切作品」(伊藤・深澤)

「鑑賞カード」(綱本・新納)

「駄菓子かるた」(鍛冶・武田)

大教大の参加人数は? 頻度は?

屏東大の参加人数は?

使用言語は日本語?

プログラム内容、スケジュールの詳細の比較、効果の検証もありだね~

どんなスケジュールで行ったの?

宿泊は?

実施したワークショップグッズをお互いに試してみる・・・
「駄菓子かるた、とてもきれいだね」、ヒントとして「音」から、、、わかるかな〜

小学校は訪問した?

小学校の授業は、、、日本と違ってた・・・

大学の授業はどうだった?

<展望>次年度に向けては、スタート段階からの協働の可能性を探るべく、学部「国際協働学習」、教職大学院「他地域教育実践演習」、「高度教科内容研究[芸術文化理解]」などのカリキュラムでの情報共有も有意義ではないか。また、留学生の皆さんへの協力要請のあり方も検討の余地がありそうだ。令和7年度「海外交流重点校」に選定されている屏東大学との交流の発展を、引き続き推進していきたい。